

書名

with you (ウイズユー)

著者名

濱野京子 / 作 中田いくみ / 画

出版社

くもん出版

出版年

2020



ポイント
お薦め

家族の中で自分の存在意義を感じられない中学3年生の悠人は、夜の公園で一人暗い顔をしている朱音と出会いました。朱音のことがなぜか気になり、何回か会ううちに、まだ14歳の朱音が病気の母親を支え、家事や妹の世話をしていることを知ります。朱音を支えたいと思う悠人とともに、ヤングケアラーについて知り、考えることができます。

書名

海を見た日

著者名

M・G・ヘネシー / 作
杉田七重 / 訳

出版社

すずき出版

出版年

2021



ポイント
お薦め

それぞれの事情で、里親に預けられた3人の子どもたち。そこへ新しくアスペルガー症候群の男の子が仲間入りし、その子の母親に会いたいという願いをかなえるために4人は冒険に出かけることに。物語から、里親制度やヤングケアラーを考えるきっかけになってもらえたら嬉しいです。

書名

かすがい食堂1～3

著者名

伽古屋 圭市／著

出版社

小学館

出版年

2021～
2023



ポイント
お薦め

下町の駄菓子屋で、子ども食堂を始めた主人公と、そこに通う子ども達の姿を描いています。第3弾「夢のゆくさき」では好意が時とすると子どもに心の傷を負わせたり、プライドを傷つけたりしてしまう事に気づかされます。好意とお節介のバランスを、それぞれの目線で描いています。食を通じて心が癒されていく内容です。

書名

みんなに知ってほしいヤングケアラー
(全4巻)

著者名

濱島淑恵／監修 黒光さおり／協力

出版社

ポプラ社

出版年

2023



ポイント
お薦め

あなたはヤングケアラーではありませんか？ ヤングケアラーとは、料理や幼い兄弟の見守り、障害のある家族のサポートなど、家事や家族の世話をする子どもたちを指します。本書は、ヤングケアラーがどんな家事や世話をしているか、どんなことに困っているかなど、体験談を交えて紹介しています。また、ヤングケアラーとその家族への具体的な支援方法を知ることができます。

書名

むこう岸

著者名

安田夏奈 / 著

出版社

講談社

出版年

2018



ポイント
お薦め

『生活保護法』聞いたことはあっても、内容も使い方も知らない人が多いかもしれません。物語の中で、生活保護を受ける家庭でヤングケアラーとして家族の世話もしている中学生が、この法律を知って使って、未来に生きようと前を向きはじめます。
少し暗いイメージの表紙に惑わされずに是非手に取って欲しい本。

書名

ヤングケアラー
介護する子どもたち

著者名

毎日新聞取材班

出版社

毎日新聞出版

出版年

2021



ポイント
お薦め

日本にはヤングケアラーが何人いるのか、全く分からない。それは、全国規模の調査をしたことがないからだ……。手探りだった取材から、その実態が見えてくる。ヤングケアラーの当事者や、取り巻く人々と環境。その事実を少しでも多くの人々に知ってもらうために、奮闘を重ねる記者たちの記録。

書名

ヤングケアラー
考えよう、だれも取りのこさない社会

著者名

濱島淑恵／監修

出版社

文溪堂

出版年

2022



ポイント
お薦め

「ヤングケアラー」とはどのようなものなのか、またどのような困難を抱えているのかを、最新の調査結果と取材をもとに、ヤングケアラーをとりまく状況をわかりやすく解説しています。ヤングケアラーについて知る初めの1冊にぴったりの本です。

ポイント
お薦め

最近よく耳にする「ヤングケアラー」。あなたは知っていますか？この本は、ヤングケアラーの現状や支援について中高生向けに解説した入門書です。ヤングケアラーを社会から取りのこさないために、私たちができることとは…。

*こちらの資料は、複数の図書館よりお薦めされています。

書名

「ヤングケアラー」 深層へのアプローチ
SNSで出会う、つながり続ける

著者名

加藤 雅江 / 著

出版社

本の種出版

出版年

2022



ポイント
お薦め

「ヤングケアラー」という言葉は知っていても、当事者の子供たちが気が付いていない事が多いと言われています。SNSという、対面・電話などのこれまでよりずっと気軽に相談できるツールで、子供たちの「困りごと」に接することが出来るようになったそうです。その事例などから支援の方法が考えられています。

書名

ヤングケアラーってどういうこと？
子どもと家族と専門職へのガイド

著者名

ジョー・オールドリッジ / 作
澁谷智子 / 監訳 長谷川拓人 / 訳

出版社

生活書院

出版年

2022

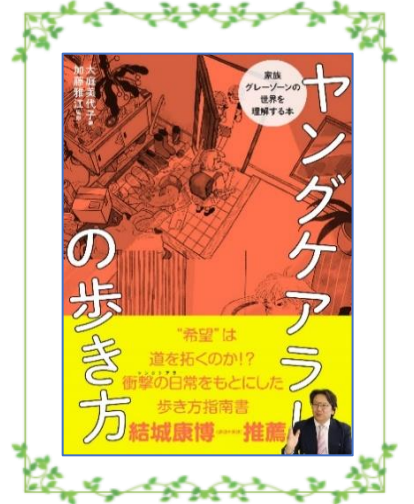


ポイント
お薦め

本当にわかりやすい文章とイラストで、“ヤングケアラーってどういうことか”がいろいろな事例で紹介されている。小中学生から教育・医療・福祉関係の人にも読んで欲しい本。
日本でのヤングケアラー情報・支援のサイトも多く紹介されており、ヤングケアラーについて理解を深める手助けになる一冊。

書名

ヤングケアラーの歩き方
家族グレーゾーンの世界を理解する本



著者名

大庭 美代子／著
加藤 雅江／監修

出版社

風鳴舎

出版年

2023

ポイント
お薦め

大人が担うと想定される家事や家族の世話などを、日常的に行っているヤングケアラーの子どもたち。その大半は、ヤングケアラーであることに気付かないまま、不自由な生活を送っている。そんな子どもたちが、本来はケアをされ、守られるべき存在であることを知ってほしい。誰もが考えさせられる体験談。

書名

私だけ年を取っているみたいだ。
ヤングケアラーの再生日記



著者名

水谷緑／著

出版社

文藝春秋

出版年

2022

ポイント
お薦め

ヤングケアラーの子ども時代から大人になるまでの成長を分かりやすく描いた実録コミック。失っていた「自分」を取り戻すことがいかに大変か、彼らの生きづらさを垣間見ることができる。ヤングケアラーについて知っている人も、知らない人もぜひ読んで欲しい一冊。